

## 向日葵・蕎麦栽培による耕作放棄地の解消（本宮市）

取組地区：白岩地区

実施主体：本宮市担い手支援・耕作放棄地対策協議会

### ◆取組地区の現況・課題

本宮市では、白沢地区を中心に、620ヘクタールを超える耕作放棄地が存在し、増加の一途を辿っている。その主な農地は桑畑であり、かつては養蚕が盛んであった時代を反映している。

市として耕作放棄地の再生には、地域のモデルとなる事業の取組が重要と考え、実施を検討していたが、白岩の塩ノ崎地区には観光資源である「塩ノ崎の大桜」があり、その付近が桑園となった農地が広範囲に広がっていたことから、地区住民の方と取組について協議し、再生に取り組むこととなった。

### ◆取組概要

#### ○内容

地目：畑 面積：97a 作物：向日葵、蕎麦

#### ○交付金等の活用状況

平成22年度耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（国費）

平成23年度耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（国費）

平成24年度耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（国費）

### 再生前



再生中



再生後



◆取組による成果

「塩ノ崎の大桜」周辺の桑園が向日葵畑に再生されたことで、桜の季節が終わった後も景観の維持に繋がった。また、夏に蕎麦を植えることで、秋に収穫し、「蕎麦祭り」の開催にも繋がった。さらには冬に向日葵油の精製も行うことができたので、一年を通して再生地を有効に活用できた。

◆取組の課題

雑草対策や根切り虫等の害虫対策が必要である。

◆今後の方向

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に起因する東京電力福島第1原子力発電所事故による影響で、作付等が制限されたため、事業実施が困難となった。そのため、今後は平成24年度までは補助事業として取組み、それ以降については、状況を勘案しながら事業実施について検討していく。

取組みが成功に至ったポイント

- ・「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」を活用したこと。
- ・地元が主体となって再生に取り組んだこと。